

静岡県議会議員選挙公報

平成 27 年 4 月 12 日執行 ◆ 静岡市葵区選挙区 ◆ 静岡県選挙管理委員会

政治はいのちを守るためにある。

子供たちに輝きを！若者たちに希望を！高齢者に安心を！今、全力で取り組みます。

●あまの・はじめ 昭和17年11月25日静岡市生、城内小、城内中学校卒業、県立静岡高校卒業（77期）青山学院大学経済学部卒業、静岡市議会議員3期、県議会議員7期。



浜岡原発の廃炉

- ・廃炉による新エネルギーの創出
- ・廃炉作業で生じる技術革新で世界に貢献する静岡発廃炉ビジネスの創出



働く場所の創生

- ・静岡が本来持っているインフラ等の高いポテンシャルを有効活用し、農業、林業、水産業、製造業、サービス業の複合的活性化政策の実施により、若者や女性の働く場所を創生



教育の再生と格差是正

- ・教員が教育活動に専念できるように事務職員との役割分担を見直す
- ・私学教育の振興



医療を核とした街づくり

- ・静岡市内の質の高い医療インフラが求心力になって、他の街から人が集う

私は前回の選挙で浜岡原発と東海地震に正面から取り組むことを公約としました。いまだ、福島第一原発の廃炉作業は遅々として進みません。この問題をいかにうまく処理できるか、まさに日本が存亡がかかっています。静岡県においても浜岡原発のあり方がこれからのわたしたちの生活を左右します。安心安全な静岡県のかたちを明確に打ち出し、皆様の「いのちを守る」ために全力で取り組みます。



あまの
天の
はじめ

自民党公認

市と県のつなぎ役になる

ホームページもご覧下さい▶▶▶ <http://amano-hajime.com>

防災のトツプランナー

安心の街づくりをリードする防災のプロ

実現しました

- ・県有施設に設置してある自動販売機を公募・入札制度に変更し、3億1600万円の予算を生み出しました。
- ・東京有楽町に「ふじのくにに住みかえるセンター」を設置することが決まりました。
- ・「こども医療費助成制度」を拡充し、中学3年生までの通院・入院費用の無償化を実現しました。
- ・県立静岡がんセンターに「禁煙外来」を設置しました。
- ・静岡こども救急電話相談#8000の事業を拡大しました。
- ・身体障害者用駐車場の利用の適正化を実現。「ゆずりあい駐車場事業」を県内全域に展開しました。

チャレンジ！

- ◎地震・津波対策、ゲリラ豪雨・浸水対策を確実に推進します。
- ◎人口減少対策を推進します。◎大人版#8000を実現します。
- ◎中小企業への金融支援を拡充します。
- ◎鳥獣被害対策を強化します。◎公共工事の品質とコストの最適化を図ります。

プロフィール

◇昭和31年 静岡市生まれ・葵区城北2丁目在住◇昭和54年 近畿大学理工学部建築学科卒業
一級建築士・インテリアプランナー・防災士・静岡県地震被災建築物応急危険度判定士



たかだ
高田
よしひろ

公明党公認

静岡県本部幹事長代理 59歳

戦争する国づくりストップ 浜岡原発は再稼働でなく廃炉に

くらし守る県政に

消費税10%増税、年金・福祉切り捨ての国の政治から、くらしを守る「防波堤」となる県政に変えるときです

福祉

- 国・県の補助を増やして払える国保料に
- 特養ホームの大増設を
- 介護保険の負担を減らす

子育て

- 保育所増やして待機児なくす
- 高3まで医療費完全無料に
- 30人学級で「どの子もわかる」教育を

雇用産業

- 住宅リフォーム助成制度を復活
- ブラック企業・バイト規制条例
- 中小企業を応援、最低賃金の時給1000円以上条例をつくる

今度こそ

葵区から日本共産党の県議を

もり大介が変えます

この8年、同じ顔ぶれの葵区、知事も「議論が低調」と発言。この流れを転換します。



もり
大介

日本共産党

46歳

福祉の現場で3年。人への優しさいっぱい、それだけに冷たい政治が許せません。

静岡県議会議員選挙公報

平成 27 年 4 月 12 日執行

◆ 静岡市葵区選挙区 ◆

静岡県選挙管理委員会

働く場の創出と拡大、地域経済の回復・向上!

働く場の創出と拡大・経済の向上を目指す

- 働く場を創出・拡大し、雇用確保と静岡県への流入人口を増やす。
- 清水港周辺にゲームやアニメなどをテーマにした統合型リゾート開発を誘致し、経済活性化と雇用創出を目指す。
- 浅間神社等、歴史財産を活用し、産業観光で経済活性化を図る。

現場目線から地震防災対策の確立

- 現役の消防団幹部(地区本部付分団長)としての経験と知識を活かす。
- 津波対策も含め、防災計画と対策をより強化したものにす。
- 富士山の噴火も想定した防災計画の早期策定を推進する。

静岡県の日本一を世界へ広げよう

- 世界遺産・日本一の富士山をさらに PR し、国内外から人を呼び込める街にする。
- 静岡県の誇る日本一の農水産物を全国へ、そして世界へと広げていく。

行政だけに頼らず、互いが知恵を絞り出し、未来の静岡を作り出そう!

やさしく・安全・安心な地域づくり

- 予防医療を充実し、健康で元気に暮らせる静岡を作る。
- 静岡が率先して、健康長寿日本一をさらに伸ばし、高齢者が元気な街にする。
- 子育て支援を充実し“喜びの持てる子育て”のできる街づくり。
- 特別支援教育の充実や統合教育の推進。
- “こころの教育”“家庭教育”の大事さを提唱し、支援する。

「水と自然」を守り、食の安全を次の世代へ

- 静岡のおいしい水を守るために治山・森林整備に取り組む。
- 安心・安全な農産物づくりの支援と食の安全を守る。
- 有害鳥獣対策を積極的に推進。

プロフィール

- 竜南小、橘中学、橘高校(15期)、茨城大学卒業
- 市議3期、県議3期
- 常葉学園橘高校同窓会会長
- 県立北特別支援学校PTA会長

ホームページ <http://yamadamakoto.com>



昭和三十七年二月九日生 五十三才

やま
だ
山田まこと

自由民主党公認

今こそ「県都の意地」を見せるとき

1 ご案内のように静岡県は北海道に続く人口減少県であり、なかでも本市の場合は国立人口問題研究所によれば、25年後の2040年には55万8千人と推計されています。国から指定された「コンベンション指定都市」の看板も名ばかり、今こそ私達は「県都の意地」をもって「勇気ある政策」を実行していこうではありませんか!

2 たとえば日本平のダイナミックな開発と「IR」(大規模行楽地)への挑戦もひとつです。また「東静岡」の駅前空間は「セントラルパーク」の発想のもとに、「人の集まる催事場」としての会場に!

3 家康薨去400年をスプリングボード(踏切板)として、歴史と伝統に裏打ちされた「県都静岡」の再構築を! そのためには確固たるビジョンの下、県庁所在地としての「意地」を今こそ見せよう!

この街の発展に奉じた私の「人生の集大成」を見て頂きたいと存じます



昭和十七年二月二日生(七十三歳)

あまの
しんご
天野進吾

自由民主党公認

県民幸福度日本一の実現!

小長井よしおの経歴

昭和28年10月21日生まれ
静岡市立大川小学校卒業
静岡市立城内中学校卒業
静岡県立静岡東高校卒業
静岡県立静岡大学卒業
昭和53年早稲田大学卒業
静岡市消防団第37分団分団長
大川地区連合町内会会長
静岡市議会議員
静岡県議会議員3期

- **命を大切に社会**
地震・津波対策と台風・異常降雨に強い基盤整備の推進
食品の安全確保と薬物乱用防止策、感染症対策の充実
原発の安全性と原発災害発生時における避難計画の検証
行政、警察等との連携を強化し安心して暮らせるまちづくり
- **豊かさを実感し大切に社会**
雇用を確保し、安心して働ける環境の整備
中小零細企業・地域産業の振興と次世代産業の創出支援
茶の都づくりの推進と県産木材の使用拡大
道路整備の推進と情報通信ネットワークの整備
賑わいのある商店街とコンパクトなまちづくり
- **人だれもが尊重される社会**
障がいのある人への就労支援を充実し、自立と社会参加への推進
健康づくりを推進し健康寿命を延伸
特定疾患の医療費の負担軽減等、難病対策の充実
- **次世代のために**
若い世代が将来設計を描き、叶えることのできる支援の充実
保育サービスの充実で待機児童ゼロの実現
保護や支援を必要とする子どもや家庭への取り組みの充実
家庭教育や幼児教育の充実と、特別支援学校の教育環境整備
- **緑環境を守る**
森林整備で水資源の確保と洪水予防機能の向上
新エネルギー・再生可能エネルギーの導入を促進
省エネルギー政策を進め持続可能な社会づくりの推進
自然と調和した景観の保全



こなが
い
小長井よしお

民主党公認